

# 今後の品川区総合戦略について

資料1

## 1. 前提

- 品川区総合戦略は、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、平成27年度に策定し、昨年度末に計画期間の終期を迎えた（計画期間：平成27年度～平成31（令和元）年度）。
- 国では「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」の閣議決定（令和元年12月20日）を受け、各地方公共団体に対して、国の総合戦略を勘案の上、「次期地方版総合戦略」を切れ目なく策定するよう求めている。
- 品川区では、次期総合戦略を「品川区総合実施計画」と一体化して策定することを予定しているが、新型コロナウイルス感染症の動向・各施策への影響が未知数であることから、現在策定作業は休止している。
- 国が総合戦略を切れ目なく策定することを求める（計画期間の空白は望ましくないとする）一方で、次期総合戦略の策定にあたっては指標・数値目標の設定が難しい（新型コロナウイルス感染症の影響が未知数）。これらを踏まえ、次期総合戦略を策定するまでは、現行の総合戦略の計画期間を延長することとする。

## 2. 現行総合戦略の進捗状況（過去5年間の評価）

- 基本目標および施策ごとに設定したKPI・目標数値は別紙のとおり。
- これまでの取り組み（平成27年度～平成31（令和元）年度）について、下記の基準に基づいて進捗状況をとりまとめると、基本目標の8割弱、施策の8割強が「A」または「B」という結果であった。

評価基準	区分	内 容	集計結果	区分	基本目標	施策
				A	B	C
	A	直近の実績値が目標数値を上回った。		5件 (55.6%)	36件 (50.0%)	
	B	目標数値は上回らなかつたが、基準値を上回った。		2件 (22.2%)	25件 (34.7%)	
	C	目標数値・基準値をそれぞれ上回らなかつた。		2件 (22.2%)	9件 (12.5%)	
	D	算出の前提（根拠等）が計画策定期から変更されている。		0件 (44.4%)	2件 (2.8%)	
			計	9件	72件	

## 3. 令和2年度のKPI・目標数値について

- (1) KPIについて
- 基本的な考え方：KPIは経年変化を継続的に分析し、改善につなげることが重要であり、計画期間中の修正は最小限にとどめるべき。
  - 令和2年度対応：上記を踏まえ、計画期間を延長するこのタイミングでは、KPIの修正・新たなKPIの設定は行わないこととする（次期総合戦略を策定する中で検討する）。

(2) 目標数値について

    - 基本的な考え方：目標数値についても、策定当初に設定した目標数値の達成をめざし、創意工夫をして取り組むことが重要であり、計画期間中の修正は最小限にとどめるべき。
    - 令和2年度対応：上記に加え、新型コロナウイルス感染症の影響が未知数のため、原則として目標数値の修正は行わない。

但し、実質的に形骸化している下記パターンにあたるものは目標数値の修正を行なうこととする。

◆パターン①（令和元年度時点で事業が完了）

重要業績評価指標(KPI)	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (目標数値)
ステーションの設置地区数	2地区	4地区	8地区	11地区	13地区	13地区	完了

◆パターン②（計画策定期（平成27年度）から現在にかけて前提が大きく変更）

重要業績評価指標(KPI)	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (目標数値)
地域ネットワークの協力者数	10,899人	13,000人	13,000人	13,000人	13,000人	2,200人	

※平成29年度から30年度にかけて協力者の登録情報のメンテナンスを実施したため減少

◆パターン③（令和元年度時点で目標を達成）

～累計実績を設定しているもの～

重要業績評価指標(KPI)	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (目標数値)
保育施設・事業の開設数(累計)	111施設	120施設	133施設	144施設	153施設	158施設	182施設

～年間実績を設定しており、令和2年度においても令和元年度の目標を超えることが明らかなもの～

重要業績評価指標(KPI)	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (目標数値)
巡回相談実施回数(年間)	172回	276回	276回	276回	276回	276回	518回